

お家でできる難民支援

～レトルト食品の販売とオンライン講座で新たな支援を実現させよう～

Good Samaritansとは

聖書の中にある、「良きサマリア人」に倣い
助けを必要としている人に手を差し伸べ、世界が少しでも変わることを願いながら活動する有志グループ。



食べて支援

大学生へ



学んで支援

広めて支援

山梨英和大学 Good Samaritans

山梨英和大学で実施してきた難民支援M4Rとは？

Meal for Refugees



日本に暮らす難民と難民支援協会が作成したレシピ本
『海を渡った故郷の味 Flavors Without Borders』に紹介されている
料理を学生食堂に導入・販売をする。
購入した料理を食べることで難民を「知る」・「支える」活動。

～M4Rの仕組み～

- ①難民の家庭料理が学食に登場
- ②売り上げの一部を寄付



実施年	実施日	実施回数	売上食数	寄付金額
2018	1月15日～26日(12日間)	第1回	131食	7,310円
2018	7月 2日～13日(12日間)	第2回	224食	11,240円
2019	1月15日～25日(9日間)	第3回	222食	8,220円
2019	7月 1日～15日(12日間)	第4回	150食	11,500円
2020	1月14日～24日(8日間)	第5回	240食	15,200円

←山梨英和大学で実施したM4Rの活動実績

合計：967食
53,470円を難民支援協会へ寄付

経緯/問題意識



COVID-19の感染拡大



外出自粛。
大学へも行けない。
予定していたM4Rができない。
セミナーなども中止になり学ぶ機会がない。

延期のおしらせ

中止のおしらせ



企画案



ネット食品の
販売でM4R



難民について学ぶ講座を
オンラインで実施

外出自粛だからこそできる難民支援を考えよう



企画① 世界の料理をレトルトで販売しよう！

学生食堂でM4Rが実施できない...
お家で食を通じた難民支援を行いたい！
レトルト食品購入の補助金が欲しい！



※世界のごちそう博物館でレトルト食品を
仕入れて販売しよう！(1食650円)

M4Rを各家庭で実現させよう！！

～ポイント～

- ・テイクアウトのニーズが高まっている
- ・お家で世界の料理を食べることができる
- ・お家で難民問題について学べる
- ・M4Rを知ってもらうきっかけになる

～販売準備～

①200部のチラシ / SNSで宣伝 ②甲府駅周辺でレトルト食品を30個販売→オリジナルチラシを添付 ③難民に関する情報を販売ブースに展示 / アンケート実施

※「世界のごちそう博物館」とは？

世界の珍しい料理をレトルト食品にして販売。
料理を通じて歴史や文化を学ぶきっかけを提供。
レトルト食品として製造・販売し、店舗・インターネットで購入可能。



※レトルト食品の一部種類



※販売雰囲気の写真

企画② 難民について学ぶオンライン講座を実施しよう！

目 標： 「難民問題」に関心を持つ人を増やそう
内 容： どなたでも参加可能！（100名未満）

第1部(40分)	難民当事者(ゲスト)のお話を聞こう ・ゲストの語る言葉から学ぼう ・日本に逃れてきた背景を知ろう ・COVID-19蔓延による生活の変化が難民に及ぼす影響について考えよう
休憩(10分)	
第2部(40分)	第1部のQ&A / レトルト食品販売による支援の紹介 ・ゲストや参加者と感想や質問を共有しよう ・具体的にできる支援方法や情報交換を行おう



「感じたことの共有」
「新たな支援の広がり」

方 法： Webアプリ

～ポイント～

- ・お家にいながら難民問題を学べる
- ・お家で難民の方の話を聞くことができる
- ・イベント会場への移動、参加費の必要が無い

**具体的な支援の方法を
考える場としよう！！**

～開催準備～

・Googleフォームで参加申し込み表を作成する

・Good Samaritansの公式アカウントやチラシで宣伝する

2020年度の実施計画/実施体制

黄色付け...大学コンソーシアムやまなし「学生イニシアティブ事業」で取り上げる項目

年度	期間	内容	場所
2020	6月	6月20日「世界難民の日」に向けてプロジェクトを進行 Youth×UNHCRプロジェクト「SNSで難民の故郷の国を紹介」	自宅
	9月上旬	お家で「食べて学び」、M4Rを各家庭で実現させよう！ 甲府駅周辺で、レトルト食品の販売。	甲府駅周辺
	9月末	お家で「聞いて学び」、オンライン講座を実施しよう！ 難民当事者の方、参加者の方と共に難民問題を学ぶ	自宅 or 大学
2021	1月	第6回M4R実施予定	大学

--	--	--	--

アピールポイント

①社会性

コロナ禍でできる支援を模索し、活動を継続させることで支援を滞らせない。
レトルト食品の販売とオンライン講座に挑戦し、世代や地域を越えた人たちと支援について学び、輪を広げる事を目指す。

②主体性

実施メンバーひとりひとりの持っている独自のコミュニティ(地域やSNS)を用いて積極的に情報発信を行う。

③具体性

レトルト食品の販売により、各家庭を学ぶ場とし、食を通じた支援を行う。
オンライン講座で難民当事者の話を聞くことで、具体的な支援方法を講座参加者と共有し、学び合う場とする。

④実現可能性

COVID-19の不安が続く中、自宅という環境でも「食べて学び」、「聞いて学ぶ」ことができる。

⑤効果

新しい支援の方法を見いだすことができる。